

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：木村 昌司

事業名	一般国道153号伊那バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	長野県
起終点	自：長野県伊那市大字福島 至：長野県上伊那郡箕輪町大字木下		延長	7.6 km		
事業概要	<p>一般国道153号は、愛知県名古屋市を起点とし長野県塩尻市に至る主要幹線道路であり、伊那市、南箕輪村、箕輪町などの中心地帯を貫く生活道路及び産業道路である。</p> <p>しかし、近年の交通量の増加に伴い朝夕の通勤時間帯を中心に市街地において交通渋滞を起こしており、交通渋滞の解消を図る目的として本バイパスの整備を図るものである。</p>					
H9年度事業化	平成8年度都市計画決定	H10年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	約215億円		事業進捗率	54%	供用済延長	(暫定)1.1 km
計画交通量	26,745台/日					
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
		(残事業) / (未完成区間全体) 135 / 160億円 事業費：128/153億円 維持管理費：7/7億円	(残事業) / (未完成区間全体) 727 / 727億円 走行時間短縮便益：674/674億円 走行費用減少便益：45/45億円 交通事故減少便益：8/8億円	平成18年		
	未完成区間全体 4.5 残事業 5.4					
感度分析の結果	—					
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満が改善） 国土・地域ネットワークの構築（隣接した日常活動圏中心都市間を連絡が改善される） 					
関係する地方公共団体等の意見	<ul style="list-style-type: none"> 伊那市、南箕輪村及び箕輪町から早期の全線開通を望む要望がある。 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 特になし。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<ul style="list-style-type: none"> 終点の箕輪側2車線を部分供用し、アクセスが向上した。 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> 天竜川右岸の南箕輪村地籍では住宅等の移転に日数を要したが、現在はほぼ買収が完了している。また、左岸側の伊那市においては、早期の橋梁架け替えを望んでおり平成22年度に架橋予定である。 					
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> 旧橋の撤去時期を明確にし、橋梁工の径間長を見直したことによりコスト縮減を図る。 					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	<ul style="list-style-type: none"> 以上の状況を勘案すれば、残工事を実施することにより、当初の目的が達成されると考えられる。 					
事業概要図	<p>The map shows the proposed bypass route (red line) connecting Fukushima, Ina City, and Kinoshita. It includes details on existing roads like National Route 153, local roads, and the Tenryu River. Project status is indicated by different line styles: solid for '供用中' (in use), hatched for '再評価箇所' (re-evaluation area), and dashed for 'うち供用中' (partially in use). Key locations like Ina City, Minami-Masunobu, and Masunobu are marked. A legend in the bottom left explains the symbols.</p>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。